

令和5年度 自己評価書

学校名	和歌山市立藤戸台小学校
校長氏名	堀本純平
作成日	令和6年3月22日

1 教育目標

自分の成長を感じる子供の育成

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学調、県学習到達度調査で正答数が全国や県平均を上回る。 ・基礎学力の定着に係る評価(90%) ・わかりやすい授業、子供主体の授業の実践(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(90%) ・いじめをなくす学校・学級づくりに係る取組(90%) ・いじめの解消率(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんの実行(90%) ・安全確保・健康管理(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の伝達(80%) ・家庭・地域との連携・協力(80%)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的な学びのある授業 ○探究的・問題解決的学習 ○基礎基本の確かな学力の定着 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育・人権教育の充実と他教科との連携による人権意識の向上 ○いじめの未然防止、早期発見・解決 ○豊かな読書活動の推進 ○一人一人を大切にす学級づくり・仲間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力向上の推進 ○基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者・地域との連携充実 ○地域教材・地域の人材の更なる活用 ○保幼小の接続、小小・小中の連携
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や基礎学力の定着に係る校内研修の実施に取り組んだ。 ○各授業において「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底した。 ○家庭学習の定着のため手引きを配布し自主勉強（「希望のしるしノート」を活用）を推奨した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めた。 ○道徳の授業では教科書を中心に多面的に考え議論できる対話的な授業を実施した。 ○全学年に学校図書館を利用する時間を設定し、読書の奨励に取り組んだ。 ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について研修できる機会を設定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上のためスポーツテストから児童の課題を把握し、体育授業では運動量の確保に努め、運動の楽しさ等を味わえる授業づくりに取り組んだ。 ○「早寝・朝起き・朝ごはん・挨拶」を推奨し、生活習慣の確立に努めた。 ○避難訓練（火災・地震・土砂災害・不審者対応を想定）を計画的に実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事についてはできることを精選し実施した。実施に際し、教育活動やPTA活動を継続する方策を考え実施した。
取組の成果と課題（評価結果）	<ul style="list-style-type: none"> ○研究授業・研究協議を実施し、授業改善に努めることができた。 ○児童・保護者の「希望のしるしノート」の進め方の参考となるよう定期的・積極的に校内に掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを学期に1回実施し、全教職員共通理解のもと、早期発見・解決に取り組むことができた。 ○道徳や人権の授業では、児童が自分の事として考え児童同士が意見交流できる時間を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツテストから児童の課題を把握し、その課題の克服のため、体育授業では運動量の確保に努め、運動の楽しさ等を味わえる授業の実施に努めた。 ○早寝・朝起き・朝ごはんについては、90%以上行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日及び学校行事や学習の場を設定し、「開かれた学校づくり」の推進に努めた。 保護者会、校区センターと協議を深め、行事の企画・運営や、支援学校との交流等、関連機関との連携により、学校と地域の行事の融合に努めた。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭との連携を深め、信頼関係を構築し、児童の学習・生活の充実に努める。 ○教員の児童理解・教科指導力を高めるための研修・研究授業・公開授業・協議会を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳において「考え・話し合う」授業を推進するため、道徳の授業を積極的に公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急時の下校訓練について、内容を検討し、次年度も定期的実施する。 ○スポーツテストの実施と検証を行い、児童の運動能力等の課題把握と体育授業の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度にも図書ボランティアの協力を得て、図書室の環境整備と読み聞かせを実施する。 ○ホームページの更新に努め、児童の様子を積極的に公開する。 ○大学との連携・協力体制に

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ■本校では、来年度以降も児童数の増加が見込まれるなか、地域とともにある学校の実現のためコミュニティスクールを活用し、校区子どもセンター事業や育友会行事への参加協力を進め、家庭や地域との連携を深めていくことが重要である。 ■教員の資質能力の向上と学校力の向上については、外部人材の力を活用しながら、チームとして組織的かつ効果的な対応を行う必要がある。
